

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
[感染症]学会長講演	飯沼 由嗣	臨床感染症学～NEXT STAGEへ	○
[化学療法]学会長講演	迎 寛	肺炎診療の過去、現在、そして未来へ	○
招請講演1	橋本 岳	ダイヤモンド・プリンセス号対応における体験と教訓 ～医学素人のおっさんが感染症大規模アウトブレイクに直面したお話～	○
招請講演2	田中 耕一	質量分析MSを中心とした感染症・化学療法への貢献	○
海外招請講演1	Zinkernagel Annelies	Impact of changes in society and climate on infectious diseases	○
海外招請講演2	Pranita D. Tamma	The Treatment of Antimicrobial-Resistant Infections : A Case-Based Discussion	○
海外招請講演3	Eric J. Rubin	Safe but not too safe - human challenge in tuberculosis	○
特別講演1	池上 彰	ニュースから世界を読む	○
特別講演2	石井 良和	創薬がもたらしたβ-lactamaseの進化と求められる操業 - β-lactamase研究の歴史と今後の展望 -	○
特別講演3	佐藤 佳	新型コロナウイルスの進化とこれから	○
教育講演1	笠原 敬	抗菌薬適正使用支援チームとはじめ	○
教育講演2	忽那 賢志	COVID-19 これまでとこれから	○
教育講演3	光武 耕太郎	MRSA感染症診療 Up To Date	○
教育講演4	尾田 一貴	バンコマイシンのTDMについて	○
教育講演5	松元 一明	TDMの利活用について	○
教育講演6	渡邊 浩	渡航外来について	○
教育講演7	國松 淳和	不明熱診療Up to date	○
教育講演8	澤 洋文	人獣共通感染症対策に資する活動	○
教育講演9	森本 耕三	肺非結核性抗酸菌症の治療—新見解と今後の展望—	○
教育講演10	高橋 聡	増加する梅毒など性感染症診療の最前線	○
教育講演11	森岡 慎一郎	EMボックス診断・治療の現状と課題	○
教育講演12	清祐 麻紀子	Diagnostic Stewardshipの実践	○
教育講演13	山本 和子	呼吸器感染症診断の進歩	○
教育講演14	石井 誠	新型コロナウイルス感染症罹患後症状の多施設共同研究から得た知見と見えてきた課題	○
教育講演15	谷口 俊文	HIV診療の最新情報について学ぶ	○
教育講演16	保阪 由美子	新型コロナウイルス感染症パンデミック以降のAMRの最新疫学動向	○
教育講演17	森 博威	総合診療内科で経験する感染症診療のポイント～感染症科との共通点と相違点～	○
教育講演18	朝野 和典	2025年大阪・関西万博の感染症危機管理	○
教育講演19	西 順一郎	Life-course immunizationとしての成人のワクチン	○
教育講演20	渡邊 香奈子	ヒトパレコウイルス (PeV-A) の感染と病原性の分子機構	○
教育講演21	有吉 紅也	熱帯医学・グローバルヘルスから学ぶ感染症の新たな視点	○
教育講演22	小川 恵子	感染症の漢方治療	○
教育講演23	北原 隆志	地域での抗菌薬適正使用支援 薬剤師の立場から	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
教育講演24	掛屋 弘	真菌感染症	○
教育講演25	志馬 伸朗	重症感染症の病態と管理	○
ジョイントシンポジウム1 「インフルエンザとCOVID-19：日本のリアルワールドデータ」 (日本臨床内科医会インフルエンザ研究班)	河合 直樹	インフルエンザとCOVID-19 ワクチンの効果と安全性	○
	池松 秀之	抗インフルエンザ薬の効果と耐性ウイルス	○
	坂東 琢磨	インフルエンザ研究をベースにした COVID-19 の疫学研究	○
	鄭 湧	COVID-19ワクチンによる免疫と副反応	○
ジョイントシンポジウム2 (JaSAジョイントシンポジウム) 「多様な背景から生じる敗血症」 (日本集中治療医学会・日本救急医学会・日本感染症学会)	中田 孝明	敗血症における疫学	○
	小林 美奈子	悪性腫瘍を有する患者における感染症	○
	荒岡 秀樹	血液疾患を有する患者での敗血症	○
	山岸 由佳	高齢者における敗血症	○
	中川 聡	小児における敗血症	○
ジョイントシンポジウム3 「非結核性抗酸菌症診療の現状、課題と今後の方向性」 (日本結核・非結核性抗酸菌症学会・日本感染症学会)	森本 耕三	疫学研究による非結核性抗酸菌症の理解と展望	○
	南宮 湖	NTM症の重症化疾患感受性遺伝子	○
	伊藤 穰	NTM検査の現状と早期診断の重要性	○
	中川 拓	肺NTM感染症に対する治療の最前線	○
ジョイントシンポジウム4 「プライマリ・ケアのCOVID-19をふりかえる ～感染症専門医とプライマリケアの協働」 (日本プライマリ・ケア連合学会・日本感染症学会)	中山 久仁子	縦割りを乗り越えた COVID-19 対策における地域連携	○
	高山 義浩	高齢者施設との協働：もっとも感染症に脆弱な集団生活を支える	○
	忽那 賢志	大阪でのCOVID-19対策を振り返る	○
	岸田 直樹	データに基づいた情報発信 – 新型コロナウイルス感染症に対峙した札幌の試み –	○
ジョイントシンポジウム5 「薬剤耐性菌感染対策の新展開」 (日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会)	金子 幸弘	抗菌薬適正使用啓発のための新たな取り組み	○
	森永 芳智	新しい微生物学的知見の薬剤耐性菌感染対策への応用	○
	川村 英樹	地域における薬剤耐性菌サーベイランスの活用	○
	下川 結花	薬剤耐性菌感染対策と地域連携	○
ジョイントシンポジウム6 「超高齢社会・医療先進国でAMR を意識した肺炎診療のあり方」 (日本呼吸器学会)	宮下 修行	成人肺炎診療ガイドライン概説 CAP	○
	小宮 幸作	成人肺炎診療ガイドライン概説 NHCAP、HAP、誤嚥性肺炎	○
	掛屋 弘	JAID/JSC感染症治療ガイドー呼吸器感染症の概説	○
	進藤 有一郎	肺炎診療におけるAMR対策の最新の考え方	○
特別企画1 「HIV・エイズ文化フォーラム in GAKKAI」	森林 原人	HIV・エイズ文化フォーラム in GAKKAI	○
特別企画2 「わが国における感染症・化学療法の課題と展望」	秋野 公造	感染症対策の意思決定について	○
	手代木 功	感染症に対する未来の脅威への備え	○
	小林 大吉郎	わが国の安全保障の観点から見た医薬品の重要性	○
	荒木 裕人	わが国における感染症対策の課題と展望について	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
特別企画3 「Current Status and Future Prospects for the Development of Medical Countermeasures for Infectious Diseases」	藤江 昭彦	Current situations of antimicrobial R&D in Japan	×
	Erin M. Duffy	CARB-X: Building and Sustaining a Pipeline of Products to Prevent, Diagnose and Treat Bacterial Infections	×
	土井 洋平	Challenges and difficulties in developing antimicrobial agents	×
ICD講習会 「最新技術の導入による院内感染対策の推進」	田内 久道	VR (Virtual reality) 技術を用いた感染対策教育	×
	掛屋 弘	蛍光塗料塗布面積解析ツールを用いた手指衛生手技の教育効果	×
	金森 肇	環境消毒技術を用いた医療環境制御	×
シンポジウム1 「One Healthの視点でAMR対策アクションプラン2023に応じた実践を考える」	松永 展明	AMR 対策アクションプラン 2023 の概要	○
	大黒 幸恵	薬局薬剤師の立ち位置を活かしたAMR対策活動 ～小児領域での実践をすべての薬局薬剤師の活動へと広げるために～	○
	伊藤 雄介	小児領域におけるAMR対策アクションプラン2023の展望	○
	保富 宗城	耳鼻科領域におけるAMR対策アクションプラン2023に応じた実践を考える	○
	浅井 鉄夫	畜産領域における AMR 対策アクションプラン 2023 に応じた実践を考える	○
シンポジウム2 「ヒトの細菌叢と疾患の関わり up to date」	山本 和子	細菌叢と呼吸器ウイルス感染症	○
	石坂 彩	HIV感染症の罹患による腸内細菌叢の変化と慢性炎症との関係	○
	萩原 真生	免疫チェックポイント阻害薬と細菌叢	○
	山岸 由佳	膈内細菌叢と疾患との関わり	○
	森永 芳智	薬剤耐性菌の腸管定着志向と細菌叢	○
シンポジウム3 「感染症創薬に向けた研究基盤の構築と新規モダリティ等の技術基盤の創出(AMED)」	浅井 禎吾	合成生物学が拓く次世代天然物創薬研究	○
	松本 壮吉	薬剤抵抗性を生む、天然変性ヒストン様蛋白質による、抗酸菌の休眠現象	○
	渡辺 登喜子	広域スペクトルを有する抗ウイルス薬開発を目指した創薬標的探索と次世代創薬モダリティの基盤構築	○
シンポジウム4 「ポストコロナで求められる呼吸器感染症の病態理解と診断の重要性」	井本 和紀	ブドウ糖非発酵菌の疫学・治療～Stenotrophomonas maltophiliaを中心に～	○
	長岡 健太郎	嫌気性菌下気道感染症の病態理解と診断、治療	○
	太田 賢治	COVID-19の未解決点と呼吸器感染症ウイルスへの展開	○
	宮下 修行	非定型病原体感染症	○
シンポジウム5 「総合知でNext pandemicに挑む」	佐々木 周作	COVID-19の感染経験の情報共有に関する行動経済学的研究：オプトインとオプトアウト	×
	伊東 潤平	データ駆動で紐解くSARS-CoV-2の流行動態と進化の法則	○
	上菟 義典	パンデミック下で持続可能な臨床検査体制の構築を目指して	○
	米岡 大輔口	パンデミック下におけるデータ駆動型政策のための疫学・統計・機械学習的方法論	○
シンポジウム6 「今後期待されるワクチンの展望」	青柳 哲史	インフルエンザワクチンの現状と今後	○
	高山 陽子	RSウイルスワクチンの現状と課題	○
	氏家 無限	COVID-19 ワクチンの現状と今後	○
	宮入 烈	免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
シンポジウム7 「原虫・寄生虫感染症の最新情報」	加藤 康幸	マラリアの臨床	○
	水野 哲志	PCRを用いた寄生虫の遺伝子検査	○
	中村 ふくみ	日本における顎口虫症の最新情報	○
シンポジウム8 「HPVワクチン これまでとこれから」	笹川 寿之	HPV ワクチンについて	○
	鈴木 貞夫	HPVワクチンの副反応－名古屋スタディより	○
	片野田 耕太	子宮頸がんその他のHPV関連がんの予防－科学的側面と社会的側面	○
	岡 愛実子	HPVワクチン累積接種割合と地域格差	○
シンポジウム9 「新型コロナウイルスのパンデミックから学ぶ社会との連携」	廣津 伸夫	家族内感染の観察から得られた感染防御対策－インフルエンザと比較して－	○
	田辺 新一	エアロゾル対策	○
	保高 徹生	感染リスク対策に資する最新計測技術と評価技術	○
	奈良 由美子	リスクコミュニケーションとコミュニティ・エンゲージメントが駆動する、感染症災害からのBuild Back Better	○
シンポジウム10 「創薬その他、感染症領域のイノベーション創出に向けた最新研究」	渡士 幸一	多分野・多業種連携で進める抗ウイルス薬研究	○
	石井 健	100 days mission:世界とつながる日本のワクチンサイエンスとデザイン	○
	濱野 真二郎	Development of a live attenuated markerless prophylactic vaccine for leishmaniasis	○
	山野 佳則	新薬開発に向けた製薬企業の果たす役割と取り組み	○
シンポジウム11 「難治性真菌感染症へのアプローチ」	渡邊 哲	なぜ真菌症は難治性に陥りやすいのか	○
	長尾 美紀	難治性カンジダ症へのアプローチ	○
	高園 貴弘	肺非結核性抗酸菌症に合併した慢性肺アスペルギルス症－臨床・基礎からのアプローチ－	○
	冲中 敬二	血液悪性腫瘍における侵襲性糸状菌感染症	○
	浜田 幸宏	AFS の実際と重要性	○
シンポジウム12 「日本における感染症危機管理体制」	鷲見 学	政府行動計画の改定 ～感染症危機に強くしなやかに対応できる社会を目指す～	○
	佐々木 昌弘	感染症危機における感染症対策部の役割	○
	国土 典宏	国立健康危機管理研究機構発足に向けての所感：NCGMの立場から	○
	脇田 隆字	国立健康危機管理研究機構の役割 国立感染症研究所の立場から	×
シンポジウム13 「診療各科における遺伝子検査の課題と展望」	柳原 克紀	診療各科における遺伝子検査の課題と展望－呼吸器感染症－	○
	仁井見 英樹	血流感染症における新規バイオマーカー「菌数」および「NE-WY」の有用性について	○
	鈴木 広道	消化器感染症(含む CDI)	○
	安田 満	性感染症領域における遺伝子検査の課題と展望	○
シンポジウム14 「抗真菌薬適正使用 (Anti-fungal stewardship programme) における多職種アプローチ」	田代 将人	抗真菌薬適正使用における医師からのアプローチ～Handshake Stewardshipの実践～	○
	浜田 幸宏	薬剤師からのアプローチ～抗真菌薬の特性を生かした選択～	○
	仁木 誠	微生物検査室からのアプローチ -真菌同定と薬剤感受性検査の実際-	○
	梅山 隆	基礎領域からのアプローチ～迅速診断における遺伝子検査への期待	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
シンポジウム15 「髄膜炎菌感染症の現状と対策」	神谷 元	国内の侵襲性髄膜炎菌感染症の疫学	○
	大楠 清文	髄膜炎菌感染症の検査・診断	○
	中野 貴司	髄膜炎菌感染症の治療と予防～ワクチンを含めて	○
	加来 浩器	集団生活、マシガザリングにおける感染予防（FUSEGU2020プロジェクトを含めて）」	○
シンポジウム16 「難治性薬剤耐性菌感染症へのアプローチ」	菅井 基行	薬剤耐性菌の疫学	○
	大毛 宏喜	薬剤耐性菌対策における地域連携の実際	○
	岡 圭輔	難治性薬剤耐性菌感染症の治療（CPE）	○
	西村 翔	難治耐性薬剤耐性菌感染症の治療(MDRP, MDRA)	○
シンポジウム17 「ダニ媒介感染症の最新情報」	倉井 華子	ダニの生態と感染症診療	○
	寺田 教彦	ダニ媒介感染症の臨床～オズウィルスを中心に～	○
	児玉 文宏	ダニ媒介感染症としてのエソウィルスの発見	○
	岩崎 博道	ダニ媒介感染症の病態と治療 ～リケッチア感染症を中心に～	○
パネルディスカッション1 「抗菌化学療法のイノベーション～エビデンスを創出し提案する薬剤師になろう！～」	松元 一明	抗菌化学療法の最適化に向けたPK/PD解析手法のイノベーション	○
	佐村 優	スペシャルポピュレーション（高齢者）に対する抗菌化学療法の提案	○
	前田 真之	カルバペネム系薬の適正使用におけるイノベーション	○
	村木 優一	医療リアルワールドデータを用いた抗菌化学療法の研究教育におけるイノベーション	○
パネルディスカッション2 「日本の感染症危機管理に従事する人材養成、資質の向上」	島田 智恵	公衆衛生対応・実地疫学分野における人材育成	○
	山元 佳	臨床現場における感染症専門人材の養成	○
	松澤 幸正	海外で活動する感染症専門家の人材育成	○
	谷口 大樹	次の感染症危機に備えるための新たな感染症人材の育成	○
パネルディスカッション3 「With コロナ時代の感染制御～NEXT STAGEに向けた多種職の取り組み～」	岡田 恵代	大規模病院の ICN「感染症専門医がいる施設における特定行為看護師の役割」	○
	勝平 真司	中規模病院における特定行為実践の成果と課題	○
	藤田 崇宏	With コロナ時代の感染制御における医師の役割 中有規模がんセンターの1人感染症科医の取り組み	○
	東 桃代	『With コロナ時代の感染制御～NEXT STAGE に向けた多種職の取り組み～』医師の立場から	○
パネルディスカッション4 「迅速診断はどこまで治療に活かせるのか」	大楠 清文	昨今の感染症迅速診断・検査	○
	大瀧 博文	塗抹検査はどこまで抗菌薬適正使用に貢献できるのか	○
	村田 正太	質量分析は革命を起こしたのか	○
	小佐井 康介	薬剤耐性遺伝子の検出を治療に活かすには	○
パネルディスカッション5 「Next pandemicへの備え：FF100と今後の課題」	鈴木 忠樹	オミクロン株の積極的疫学調査として実施したThe first few hundred 調査:総括	○
	高橋 健一郎	オミクロンの積極的疫学調査として実施したThe first few hundred 調査：検査部門の視点	○
	土橋 酉紀	オミクロン株の積極的疫学調査として実施したThe first few hundred 調査：疫学部門の視点	○
	石金 正裕	オミクロン株の積極的疫学調査として実施したThe first few hundred 調査：臨床部門の視点	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
パネルディスカッション6 「COVID-19パンデミック後の呼吸器ウイルス感染症の現状と対策」	古市 美穂子	COVID-19 パンデミックによる小児ウイルス感染症の疫学の変化	○
	森岡 一朗	小児のRSウイルス感染症の疫学の変化と対策	○
	皿谷 健	成人の RS ウイルス感染症の疫学とその予防	○
	中野 貴司	これからの予防接種戦略～RSウイルス、インフルエンザ、COVID-19を中心に	○
パネルディスカッション7 「薬局におけるこれからの抗菌薬適正使用支援」	藤村 茂	外来抗感染症薬認定薬剤師制度について（概要説明）	○
	橋場 元	AMR対策における日本薬剤師会の取り組み	○
	瀧藤 重道	薬局薬剤師が取り組む抗菌薬適正使用	○
	藤友 結実子	AMR対策での薬局薬剤師への期待	○
パネルディスカッション8 「感染症における遺伝子検査の展望」	南宮 湖	感染症診療におけるゲノム解析の臨床応用	○
	加勢田 富士子	微生物検査における次世代シーケンサーの活用ーブドウ球菌を中心にー	○
	中村 昇太	微生物ゲノム解析の新展開	○
	相澤 悠太	小児感染症におけるMultiplex PCR の今後の展開	○
パネルディスカッション9 「Antimicrobial Stewardship Teamの多職種連携から生まれる相乗効果」	山田 康一	医師から生まれるASTの相乗効果	○
	塚本 仁	薬剤師が感じるASTの相乗効果	○
	山本 剛	臨床検査技師から生まれるASTの相乗効果	○
	一木 薫	看護師から生まれるASTの相乗効果	○
パネルディスカッション10 「肺炎球菌ワクチンの普及を目指して」	中村 茂樹	肺炎球菌ワクチンの基礎と今後の展望	○
	森本 浩之輔	成人の市中肺炎・IPDの現状と肺炎球菌ワクチン	○
	関 雅文	慢性疾患や免疫不全のある患者への普及と課題	○
	丸山 貴也	高齢者施設での普及と課題	○
委員会企画 (日本感染症学会男女共同参画推進委員会) 「働くということの意味を考える」	前崎 繁文	自分流人生の楽しみ方	○
	武田 雅子	民間企業における人材不足対策について	○
四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告	矢野 寿一	第12回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスー耳鼻咽喉科領域感染症ー	○
	藤倉 雄二	第13回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスー呼吸器感染症ー	○
第6回臨床研究促進助成中間報告	川筋 仁史	我が国の腸内環境における薬剤耐性と定着リスクの解明 ～新たな保菌前感染対策への展開～	○
委員会企画 (日本感染症学会専門医審議委員会) 「新感染症専門医制度を考える」	千酌 浩樹	当院における感染症専門医育成の現状と課題	○
	荒岡 秀樹	市中病院からみた新感染症専門医制度	○
	長尾 美紀	京都大学医学部附属病院における感染症専門医の育成の課題と展望	○
	山岸 由佳	感染症専門医制度を考える	○
委員会企画 (日本感染症学会感染症検査AI委員会) 「感染症検査におけるこれからのAIのあり方と関わり方 ～感染症検査AI委員会発足の経緯とステートメント作成～」	植田 大樹	人工知能の基礎と医療での公平な運用	○
8学会合同抗微生物薬適正使用推進検討委員会報告	前田 真之	抗微生物薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス2023年度改定のポイント	○

セッション名	演者 (敬称略)	演題名	オンデマンド 配信
ワークショップ (日本感染症学会臨床研究推進委員会) 「あなたの日常診療を科学にしようAccepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -」	田中 拓	研究チームで論文を発表し続ける推進力～大学院生の立場からの経験を伝える～	○
	田中 信悟	多職種連携による論文作成	○
	高橋 秀徳	COVID-19の論文を書いていたらAcademic bookへの寄稿を依頼されました ～Accepted Paper Session発表の後日談～	○
	池崎 裕昭	クリニカル・クエスチョンが拓くエビデンス - ワクチンの効果を可視化する -	○
	中久保 祥	COVID-19診療経験から生み出された一連の臨床研究 ～Clinical questionを昇華、結晶化させよう～	○
症例から学ぶ感染症セミナー	西川 ゆかり	症例1. 「発熱と関節痛を呈した24歳男性」	×
	小泉 信夫	症例1. 「発熱と関節痛を呈した24歳男性」	×
	北川 浩樹	症例2. 「この菌はどこから？ 72歳男性の発熱」	×
	久恒 順三	症例2. 「この菌はどこから？ 72歳男性の発熱」	×
第70回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー	千酌 浩樹	発熱のとらえかた・考え方	○
	青木 洋介	不確かなベッドサイド環境での判断と意思決定	○
	荒岡 秀樹	適正使用の流儀	○
	的野 多加志	事例検討「Going David!」	○